

## CO<sub>2</sub>排出量を2020年度に2005年度比15%削減する「温暖化防止自主行動計画」のうち、 2013年度は5.5%を削減しました(2005年度比)

コープネット事業連合（本部：埼玉県さいたま市、理事長：赤松 光、会員生協：関東信越の6生協）は、2013年3月末、日本生活協同組合連合会および全国の生協・事業連合とともに、CO<sub>2</sub>排出量を2020年度に『2005年度比15%削減<sup>※1</sup>』する計画を策定しました。

コープネットグループではこの計画を基に低炭素社会の実現に向けた「温暖化防止自主行動計画（2013年度～2020年度）」を策定し、CO<sub>2</sub>排出削減に取り組んでいます。計画の初年度にあたる2013年度は店舗・関連施設の統廃合や照明のLED化、電力消費量の多い夏や冬の節電、カーボン・オフセット<sup>※2</sup>による店舗・施設づくりによって、CO<sub>2</sub>排出量を5.5%削減しました（2005年度比）。

「温暖化防止自主行動計画」を進めるにあたり、当事業連合では再生可能エネルギーの活用も重要視しており、物流施設等での太陽光発電パネルの設置やバイオディーゼル燃料を使用した発電など多角的な電力創出を検討し、2020年度までに2010年度の使用電力（72,725 kW）の20%相当（14,545 kW）の再生可能エネルギーの創出を目標としています。



2013年に物流施設屋上に設置した太陽光発電パネル(千葉県印西市)

今後とも、「温暖化防止自主行動計画」を達成するための取り組みを積極的に推進していきます。

※1 生協全体の2020年度CO<sub>2</sub>排出量見通しは、2005年度排出量83.8万トンに対し70.2万トン（2005年度比約15%削減）。CO<sub>2</sub>排出量削減目標の決定にあたり、各生協・事業連合の事業伸長と各種省エネ対策を可能な限り反映させました。

※2 CO<sub>2</sub>などの温室効果ガス排出量が減るよう削減努力を最大限実施した上で、それでも削減量が不足する場合に、不足分を他の場所で実現された排出削減・吸収量で相殺すること。

### ■ 「温暖化防止自主行動計画」

集計年度	2005年度 (基準年度)	2013年度 実績	2020年度 目標
CO <sub>2</sub> 排出量	133,604トン	126,269トン	113,563トン
2005年度比	—	▲5.5%	▲15%

#### 《生活協同組合連合会コープネット事業連合 概要》

【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸1-4-13  
 【理事長】 赤松 光（あかまつ ひかる）  
 【会員生協】 コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、  
 コープながの、コープこいがた  
 【総事業高】 4,992億円（会員生協事業高計）※2013年度  
 【組合員数】 426万人（会員生協組合員計）※2014年5月20日現在  
 【ホームページ】 <http://www.coopnet.jp/>